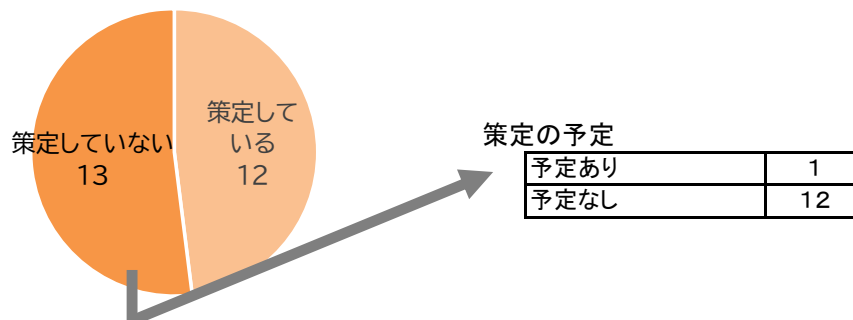
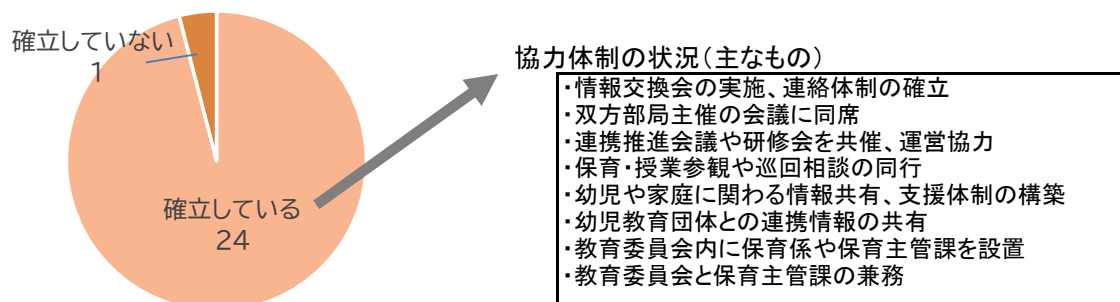


令和6(2024)年度 幼小連携推進状況調査結果

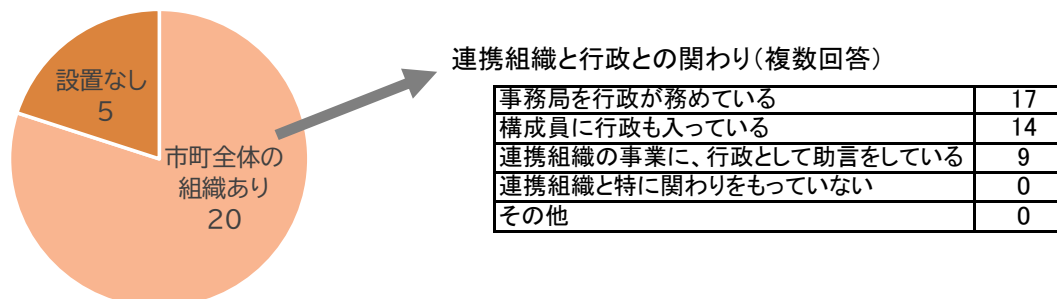
1 市町の特徴を生かした幼児教育の推進に関する計画の策定



2 教育委員会と保育主管課との協力体制の確立



3 幼小連携組織の設置状況



4 幼小連携推進に向けた具体的取組

(1) 市町教育委員会又は市町全体の幼小連携組織が実施している取組

- 1・・・実施 又は 年度内に実施予定 2・・・計画はしていたが、実施できなかった
3・・・次年度以降、実施予定 4・・・実施予定なし

具体的取組		1	2	3	4
ア	幼小の教職員による合同の研修会	25	0	0	0
イ	幼小の教職員による保育・授業の相互参観	23	0	0	2
ウ	幼小の教職員による保育・授業参観後の研究協議	19	1	1	4
エ	幼小の教職員による相互職場体験	3	0	1	21
オ	幼小の子ども同士の交流活動の促進	19	0	3	3
カ	小学校入学に関しての引継ぎや情報交換	25	0	0	0
キ	架け橋期のカリキュラムの開発	10	1	9	5
ク	家庭・地域に向けた情報発信	6	1	6	12
ケ	その他	・小学校公開授業研究会への幼の参加 ・幼保小中の同日・同時間の合同引き渡し訓練			

(2)市町教育委員会又は市町全体の幼小連携組織で幼児教育と小学校教育とのカリキュラムの接続に向けた取組
(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえたスタートカリキュラムの編成等)の実施

	回答市町数	
実施 又は 年度内に実施予定	24	
(うち、年間事業計画への位置付け)	ある	ない
	24	0
計画はしていたが、実施できなかった	0	
次年度以降、新規に実施する予定	1	
実施予定なし	0	

【実施市町の内容や方法】

【子どもの育ちと学びをつなぐための協議等】

- 県主催の研修を受講した指導主事を講師とし、架け橋期の教育の充実をテーマとした研修会や、幼保小の先生同士のグループワークを実施した。
- 幼保小連絡会研修会において、情報共有・情報交換を行った。
- 県の第1回幼児教育担当指導主事研修会の講話「架け橋期の教育の充実」を参考にして、市幼保小連絡協議会研修会の第1回目の参加者(市内の幼保小の先生)向けに講話を行った。小学校における段差が少しでもなくなるよう、「3つの環境づくり」の点から、参加者同士での情報交換を行った。また、2回目の研修では、「幼児期の教育と小学校教育をつなぐ幼保小の接続について」の講話を行い、幼保小の先生の相互理解を深められるよう、「同種の活動」で見られる子どもの姿について協議した。
- 幼小連携推進委員会研修会において、各校のスタートカリキュラムを検討したり情報共有を行ったりして、幼小の円滑な接続を図った。
- 相互参観において、子どもの姿から見取った架け橋期に大切なことを話し合うことで、幼小の連携・接続に努めた。
- 令和6年度実施予定の研修では、保育参観をもとに、幼小連携の視点での研究協議において、子どもの育ちと学びをつなぐための取組や園・学校のカリキュラムの見直し、指導の在り方について協議する予定である。

【10の姿を踏まえた協議、保育・授業改善等】

- 幼保小連絡協議会研修会での小学校授業参観及び幼保保育参観において、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有し、授業等について意見交流をしている。研修会では、各校のスタートカリキュラムを持ちより、幼保小の教員で共通理解を図ったり、カリキュラムの改善につなげたりしている。
- 大学教授による講話と演習、情報交換 演題:「学校文化の視点からみる幼小の差異性-10の姿とカリキュラム-」
- 小学校1年生の授業を視聴し、10の姿を踏まえたグループ協議、情報交換(2校での授業を撮影し視聴。二日間の開催日を設定し、学校区で参加する日を割り当てた。)
- 年長児の保育を視聴し、10の姿を踏まえたグループ協議、情報交換(2施設での保育を撮影し視聴。二日間の開催日を設定し、学校区で参加する日を割り当てた。)
- 幼小合同研修会で幼児期のカリキュラム、スタートカリキュラムの情報共有を行った。
- 保育・授業参観の際に、「10の姿」をもとに子どもたちの姿を観察し、その後グループ協議を行った。
- 6月の合同研修会の際に、各校のスタートカリキュラムを持ち寄り合同でグループ検討を行った。9月以降実施の相互授業参観の際に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目の何につながる活動なのかを意識して参観してもらっている。参観にとどまらず、スタートカリキュラムについて協議する時間を設けた。
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた授業の参観をした。
- 上記の授業と講話を通して、幼・保・小の指導者同士がその学びや育ちの姿がどのようにつながっていくのかを協議した。
- スタートカリキュラムや幼児期の計画を見合い、情報交換や課題の見直しを行った。

【スタートカリキュラムの確認・共有等】

- それぞれの学校区の実情に応じて、幼小相互の授業参観や合同研修会、児童と園児の交流活動、及び教育実践やスタートカリキュラムに関する情報交換などの幼小連携を図る取組を実施している。また、全小学校においてスタートカリキュラムを編成しており、教育委員会事務局が、学校訪問の際に内容等を確認している。
- 年2回の実施。講師を招聘し、講話を聴いたりテーマに沿って話し合ったりしている。また、スタートカリキュラムは各小学校のHPに掲載している。
- 小学校1年生のスタートカリキュラムについて、効果的に活用できるような内容を目指し、記載すべき内容を再確認して全校統一して記載したり、より具体的な内容を盛り込めるよう検討したりする予定。また、年明けに開催予定の幼小連絡協議会において、幼稚園・保育園とスタートカリキュラムを共有し、学びのつながり図っていく。
- 市教育委員会主催の幼小連携推進研修会にて、幼小の教職員約60名が参加し、スタートカリキュラムに関する研修を行った。学校教育課指導主事による講話とスタートカリキュラムの確認、教職員同士の情報交換を行った。
- 幼小連携推進委員会研修会において、各校のスタートカリキュラムを検討したり情報共有を行ったりして、幼小の円滑な接続を図った。【再掲】
- 相互参観において、子どもの姿から見取った架け橋期に大切なことを話し合うことで、幼小の連携・接続に努めた。【再掲】
- 幼保小連絡協議会研修会での小学校授業参観及び幼保保育参観において、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を共有し、授業等について意見交流をしている。研修会では、各校のスタートカリキュラムを持ちより、幼保小の教員で共通理解を図ったり、カリキュラムの改善につなげたりしている。【再掲】
- 6月の合同研修会の際に、各校のスタートカリキュラムを持ち寄り合同でグループ検討を行った。9月以降実施の相互授業参観の際に、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」の10項目の何につながる活動なのかを意識して参観してもらっている。参観にとどまらず、スタートカリキュラムについて協議する時間を設けた。【再掲】

【幼児期のカリキュラムとスタートカリキュラムの確認・共有等】

- 幼保小合同研修会（総合教育センター講師による講演と演習）を行った。テーマは「幼小の円滑な接続のために～カリキュラムの接続をめざして～」とした。演習では、各園の幼児期カリキュラムや各校のスタートカリキュラムをもとに情報共有を行ったり、普段の子どもたちの様子について情報交換を行ったりした。
- 保育・授業参観、幼小合同研修会において、幼児期のカリキュラムやスタートカリキュラムの見直しを行っている。
- 幼保小中連絡協議会全体研修会において、県幼児教育センター長の講話をもらい、幼保小中で子どもの育ちとWell-beingの実現について共通認識を図った。
- 中学校区でR5に作成した幼～中で目指す子ども像をもとに、スタートカリキュラムやアプローチカリキュラムの見直し、幼小交流（子ども、教員）、行事参観等を行い、相互理解を深める。
- 小学校区ごとの「幼保小中交流計画」の共同作成。（スプレッドシートへの入力）
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた授業の参観をした。【再掲】
- 上記の授業と講話を通して、幼・保・小の指導者同士がその学びや育ちの姿がどのようにつながっていくのかを協議した。【再掲】
- スタートカリキュラムや幼児期の計画を見合い、情報交換や課題の見直しを行った。【再掲】
- 令和6年度実施予定の研修では、保育参観をもとに、幼小連携の視点での研究協議において、子どもの育ちと学びをつなぐための取組や園・学校のカリキュラムの見直し、指導の在り方について協議する予定である。【再掲】
- 幼小合同研修会で幼児期のカリキュラム、スタートカリキュラムの情報共有を行った。【再掲】
- 保育・授業参観の際に、「10の姿」をもとに子どもたちの姿を観察し、その後グループ協議を行った。【再掲】

【カリキュラム接続に関する講話・協議等】

- 幼小合同研修を小学校で開催。小学校での授業参観を行った後、幼小の先生で協議した。年度末には、2回目を実施し、カリキュラムの接続にも触れながら、情報交換や引継ぎを実施する予定である。
- 幼保小連絡協議会の代表者会議にて講師を招いて接続の重要性を再確認
- 幼保小連絡協議会の担当者会議にて、カリキュラムの改善に向けた情報提供
- 各園、各施設合同の研修を行い、カリキュラムの接続についての講演会を行うとともに、グループ協議において話し合いを行った。
- 授業参観（小学校・幼稚園・保育園等）でお互いの授業を参観し合い、授業研究会を実施した。

【ジョイントカリキュラムの作成等】

- 夏の幼保小連携推進研修会にて、「架け橋期の充実に向けて～ジョイントカリキュラムの作成を通して～」をテーマに、演習を交えながら講話を行った。その後、それぞれのブロックごとにジョイントカリキュラムの作成を行い、各園や各学校でのカリキュラムの見直し等に役立ててもらったようにした。
- 幼小連絡会議・幼小連絡会研修会、架け橋参観において、ジョイントカリキュラムの作成を通して、目指す子どもの姿を思い浮かべ保育者・担任としての関わる際のポイントや大切にしたい心もちについて話し合う。
- それぞれの保育・授業を参観し、架け橋期の教育がどのようにつながっているのかを考える。
- スタートカリキュラムの見直しを行う。

【架け橋期のカリキュラムの作成・見直し等】

- 幼保小連絡協議会において、保育・授業参観、研究協議などの研修を行うと共に、それぞれに作成している架け橋期のカリキュラムを持ち寄り、「幼小の学びをつなぐ」という観点で双方の教職員で見直しを図ることができた。
- こ小合同研修会において保育参観を行い、幼児の姿について対話しながら架け橋期の教育の充実のためにこども園と小学校ができることについて話し合った。また、講話を通して理解を深めた。
- MIM合同研修会において1年生国語の授業参観を行い、こども園と小学校の言語環境や支援について話し合った。また、講話を通して理解を深めた。
- こ小接続カリキュラム作成委員会を実施し、架け橋期全体のカリキュラム（R7年度から実施）を作成中。
- こ小接続支援員の配置（R7年度より）。